

令和4年度第1回協働をすすめる市民会議 議事録

開催日 令和4年5月17日(火)

19:00~20:15

場所 金沢市役所7階 全員協議会室

出席委員 俵座長、中田副座長
太田委員、雄谷委員、刈本委員、佐々木委員、澤田委員、高松委員、橘委員、
外山委員、中村委員、浜名委員、真鍋委員、宮下委員、宮西委員、安嶋委員、
山田委員、谷内アドバイザー(五十音順 敬称略)

事務局 松田市民局長、木谷市民協働推進課長、山田市民協働推進課長補佐、
川本係長、若平主査、森田主事

1 松田市民局長あいさつ

2 委員及びアドバイザー紹介

3 協働をすすめる市民会議について

谷内アドバイザーから協働に関する説明

4 座長及び副座長の選出

座長：事務局から俵委員を推薦。(異議なし)

副座長：俵委員から中田委員を推薦。(異議なし)

俵座長あいさつ

5 報告事項

(1) 令和3年度事業・決算報告、監査報告

事務局より説明。監事より監査報告。

【意見、質疑等】

(A 委員)

まちづくりチャレンジ事業について、採択された事業はどうなったのか。

(事務局)

令和3年度は各団体から事業完了後に、成果発表動画を提出していただき、審査員や協働課にそれぞれ感想やフィードバックをしてもらい、各団体にお伝えし、今後の活動の参考にさせていただいている。

(2) 令和4年度事業予定・予算

事務局より説明。

【意見、質疑等】

(B 委員)

コロナ禍で色々なコストの削減が図られる中で、予算が前年度同額予算という考え方に見えるが、コロナ禍を特別なことではなく、システムを変えるという考えにしていけば、前年度実績額を予算に出来るのではないか。

(事務局)

今年度に入ってからウィズコロナで、地域活動も少しずつ動き始めている。昨年度、一昨年度は対面を避けて実施してきたが、今年度は、少しずつ集まることを考えていきたい。対面で顔を合わせて図られる横の交流も大切と思っており、2年前に戻すという意味ではなく、書面やオンラインを便利に使いながら、コロナとうまく付き合っ進めていくことを反映した予算である。ご理解をお願いしたい。

(C 委員)

協働をすすめる市民団体登録について、登録した団体には具体的な金銭的支援などのメリットがあるのか。登録団体は、市民に見える形で公表されているのか。

(事務局)

協働ハンドブック10ページに掲載しているが、メリットとしては、ホームページでの紹介、金沢学生のまち市民交流館の会議室や交流ホールを無料で利用できること、金沢市の協働に関する事業についての情報提供などがある。

(D 委員)

ホームページの協働をすすめる市民団体登録の情報について、決算報告などの情報が古いものがある。NPOは継続が大きな課題であり、1年ごとでは短すぎるかもしれないが、定期的にメンテナンスしていった方が良いのではないか。

(事務局)

登録団体に対しては、2年ごとに登録の更新確認をしている。この2年は活動が中々出来ていないため、活動概要の更新などが出来ない状況かと思う。登録団体の活動についての把握に努めていきたい。

(俵座長)

この会議は、協働に関する事項のほか、色々な事業を進めていくのでよろしくお願ひしたい。冒頭の谷内アドバイザーのお話からも、協働について、また、この会議の役割がどういうことにあるか理解が深まったかと思う。

6 意見交換

(D 委員)

今日の会議は YouTube を使用していて非常にわかりやすい会議であった。ホームページには、広報誌が PDF で公開されているが、jpeg の画像で出した方が広報として見やすいと思う。また、チャレンジ事業の採択団体が減っているのは、プレゼンが動画であることが障害になっているということはないか。

(事務局)

ご指摘については取り入れたい。チャレンジ事業は、昨年度は申込自体が少なく、申し込みをしても、活動が出来るかわからないというご意見が多かった。今年度は 28 団体の応募があり、大幅に増えてうれしい限りである。二次審査などの方法については、ご意見をいただき、部会や審査員の皆様とご相談しながら、今ほどのご意見も含めて取り組んでいきたい。

(谷内アドバイザー)

コロナ禍の新しいプレゼンのやり方として動画を採用している。サポートセンターでは、チャレンジ動画の作成について、事前に技術的なお手伝いをしている。パワーポイントを読み上げて zoom で撮れば、編集はないので難しくない。団体によっては、写真を多用し、現場から生中継するプレゼンなど工夫があり、動画だからこそかえって、内容もエキサイティングなものになっている。技術的に難しい団体は、サポートセンターで機材編集もしているし、編集のやり方もお教えして対応している。

(E 委員)

動画などは、委員個人が、SNS でシェアして多くの方に見ていただくようにしてよいか。金沢市オフィシャルに限られていて個人的な拡散はだめなのか。動画の取り扱いについて説明していただければ、ご協力したい。

(事務局)

動画は YouTube で見られるので、ぜひ拡散をお願いしたい。

(D 委員)

チャレンジ事業のプレゼン動画を見るだけではわからないなという印象もあるので、採択された団体をフォローして、一緒になってイベントに行き、その様子などを拡散していくという関わり方が良いのでは。

(事務局)

プレゼン動画の拡散というよりは、チャレンジで採択された事業そのものを拡散していった方が良いというご意見であったと思うが、行政ではうまく伝えられないことがあるので、皆さんにご協力をいただきたい。

(F 委員)

この会議では、何をするか説明が多く、プロジェクトでは当たり前のコンセプトが見えず、どういう協働のまちを作るかが見えてこない。やることではなく、目指すイメージを統一できればうれしいと思う。

(谷内アドバイザー)

協働の先に何があるかについては、協働推進計画の中で、何年までにどういうことを目指すのか書いている。会議の冒頭で確認すべきであったかもしれない。どう具体化するのかはそれぞれの部会の皆様で議論し、計画に合致させながら、各部会で強調したいところ、スローガン、ビジョンを作っていたいただければと思う。

(F 委員)

会議資料や広報誌を見ると、行政が目指す市民団体を目指さないといけないという印象がある。革新的なアイデアで、発想を広げていく。チャレンジ事業のパンフレットの団体の写真もかっこよくして、今までになく、若い人、革新的な人など違うジャンルの人がチャレンジ事業に参加していくようになれば良い。

(事務局)

ぜひ、広報部会に入ってくださいご意見をいただきたい。決まった感じではなく、手に取りやすい、若い人に目につきやすい色んなイメージやアイデアがあると思うので、そういう方は広報部会で冊子づくりに携わっていただきたい。